

マラソン大会警備(架空)における「区域」のイメージ

(注)

○ 区域の区分は、予想される雑踏の状況、警備員数等の諸条件により変わり得る。

(区域の区分の考え方)

- 競技場のスタンド及び競技場入口は、観客が密集することから、それぞれ1区域。
- 市街地は、観客が密集する交差点や駅ごとに、それぞれ1区域。
- 郊外は、観客が密集するほどではないことから、市街地よりも広い範囲で1区域。
- 田園地帯は、観客はほとんどおらず、実施するのは交通誘導警備業務のみであり、雑踏警備業務は行わないことから、区域の設定は不要。

(マラソン大会(架空)の想定)

- A駅周辺は市街地(繁華街)であり、マラソン大会時にも観客が多数集まる。
- B駅周辺は郊外であり、マラソン大会の観客は密集する程ではない。
- 田園地帯には、マラソン大会の観客はほとんどいない。

